

2000/6期決算概況と今後の見通し

2000年8月25日

藤原 洋

株式会社インターネット総合研究所

Internet Research Institute, Inc.

● 決算概況と見通し

2000/6期単体は増収減益、黒字確保



		97/6	98/6	99/6	2000/6
営業収益	百万円	91	410	725	1,137
前年比	%		350.9%	77.1%	56.7%
売上原価	百万円	44	248	382	593
前年比	%		464.1%	54.0%	55.1%
原価率	%	48.4%	60.6%	52.7%	52.2%
売上総利益	百万円	47	161	343	544
前年比	%		244.6%	112.6%	58.5%
利益率	%	51.6%	39.4%	47.3%	47.8%
販管費	百万円	44	148	271	483
前年比	%		235.8%	83.6%	78.3%
対売上比率	%	48.4%	36.1%	37.4%	42.5%
営業利益	百万円	3	14	72	60
前年比	%		381.1%	428.5%	-16.1%
利益率	%	3.1%	3.3%	9.9%	5.3%
経常利益	百万円	3	10	64	38
前年比	%		257.4%	530.1%	-40.3%
利益率	%	3.1%	2.5%	8.8%	3.3%
特別利益	百万円	0	2	0	
特別損失	百万円	0	2	0	25
税引前利益	百万円	3	10	64	13
前年比	%		256.0%	532.6%	-79.4%
法人税住民税	百万円	2	6	46	31
実効税率	%	70.7%	59.9%	72.7%	237.1%
法人税等調整額					-22
当期利益	百万円	1	4	17	4
前年比	%		388.4%	330.3%	-78.1%
利益率	%	0.9%	1.0%	2.4%	0.3%

連結 / 単体決算の概要



2000/6期	連結 (百万円)	単体 (百万円)	連単倍率 (倍)
売上高	1,137	1,137	1.00
売上原価	593	593	1.00
売上総利益	544	544	1.00
販売費	494	483	1.02
営業利益	50	60	0.83
営業外収益	11	10	1.17
営業外費用	33	32	1.03
経常利益	29	38	0.75
特別損失	25	25	1.00
税引前利益	4	13	0.28
法人税等	31	31	1.01
調整額	-22	-22	1.00
当期利益	-6	4	-

部門別売上～IOP事業の比率上昇へ




		97/6	98/6	99/6	2000/6
[売上]					
IOP事業	百万円	67	167	261	632
前年比	%		150.8%	56.3%	142.1%
ADR事業	百万円		95	195	189
前年比	%			104.9%	-3.0%
PDS事業	百万円	22	143	141	30
前年比	%		539.4%	-1.2%	-78.9%
その他	百万円	2	5	129	286
前年比	%		155.8%	2486.1%	122.4%
合計	百万円	91	410	725	1,137
前年比	%		350.9%	77.1%	56.7%
[シェア]					
IOP	%	73.3%	40.8%	36.0%	55.6%
ADR	%	0.0%	23.2%	26.8%	16.6%
PDS	%	24.6%	34.8%	19.4%	2.6%
その他	%	2.1%	1.2%	17.8%	25.2%
合計	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

バランスシートの推移



(100万円)	97/6	98/6	99/6	99/12	00/3	00/6
流動資産	123	157	800	11547	8940	8507
現預金	49	29	412	11240	8776	4148
有価証券	0	0	0	0	0	3800
売上債権	33	103	355	268	122	508
固定資産	26	111	177	252	2546	3057
有形固定資産	5	18	15	13	14	36
無形固定資産	3	3	57	43	37	30
投資その他資産	18	90	106	195	2496	2991
投資有価証券	2	17	19		650	742
関係会社株式			0		589	1004
出資金			0		1100	1098
繰延資産	4	3	2	1	1	0
資産合計	153	272	979	11801	11488	11565

(100万円)	97/6	98/6	99/6	99/12	00/3	00/6
流動負債	91	143	254	406	198	52
営業未収金	2	3	49	197	23	3
短期借入金	53	80	55	124	98	0
1年以内返済の長期借入金	0	2	16	17	16	0
固定負債	0	63	112	102	90	0
長期借入金	0	8	56	48	44	0
負債合計	91	206	366	508	288	52
資本金	60	60	350	2050	2050	2050
資本準備金			240	9421	9421	9421
剰余金		5	23	-177	-271	42
資本合計	61	65	613	11293	11200	11513
負債・資本合計	152	271	979	11801	11488	11565

- (1) **ビジネスモデル転換に伴う人員シフトの端境期**
技術コンサルティング データセンターや
24時間システム監視などの新事業
- (2) **比較的採算の良い案件や商標(Powered by IRI)**
契約金などが、4Qに集中計上 
- (3) **人員増加に伴う人件費増加、研究費増加、
一時的費用の計上（次ページ参照）**

コスト増加の主な内訳



- **総人件費** : 99/6期2.5億円 2000/6期3.9億円
[従業員数] 97/6末13人 98/6末24人 99/6末33人
99/12末44人 2000/3末50人 2000/6末57人
- **広告宣伝費** : 約2000万円増加
- **研究費** : 約7000万円増加
- **一時的費用** : 約9000万円計上
[3 Q] 上場費用約5000万円 = 販管費2800万円 +
営業外費用2200万円
[4 Q] 引越し費用約4100万円 = 販管費1600万円 +
特別損失2500万円

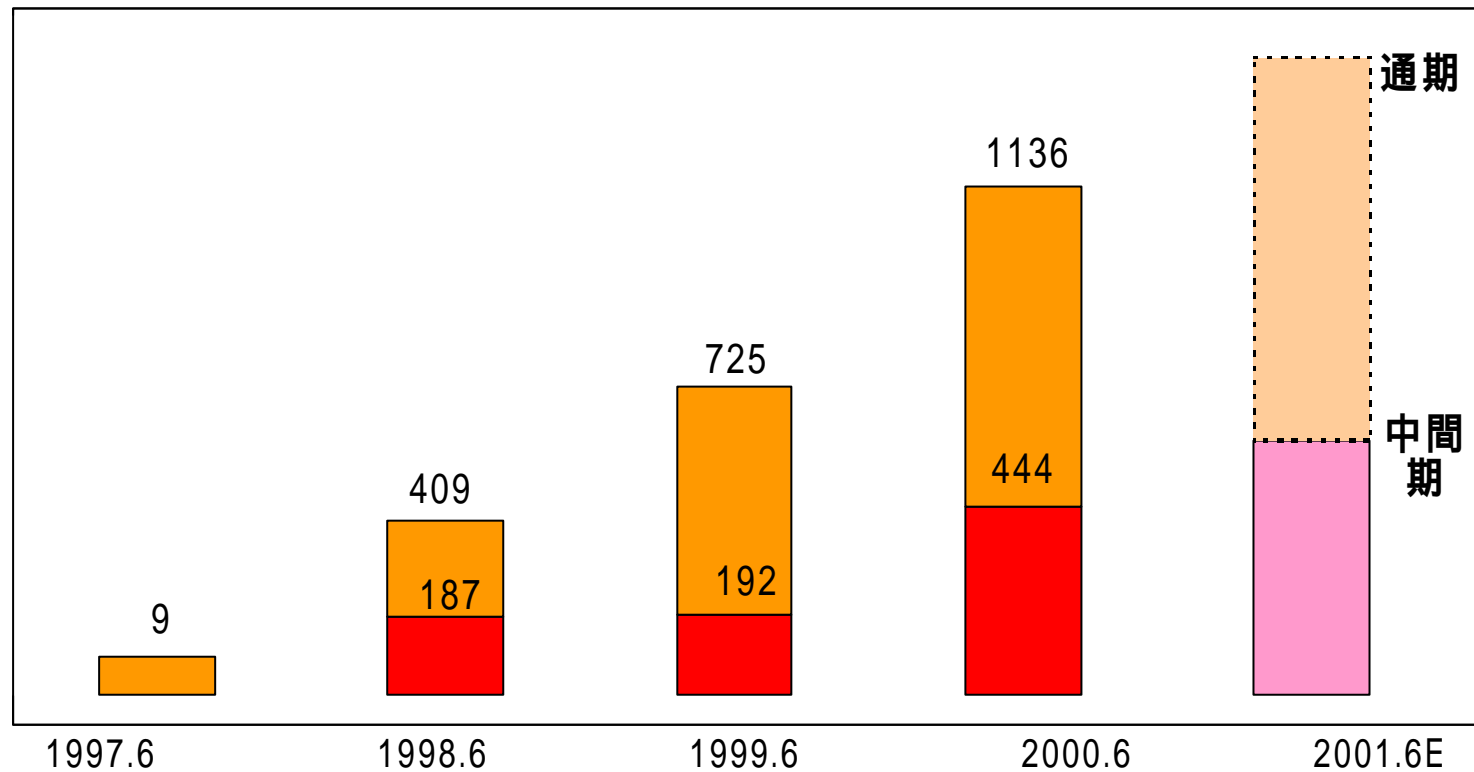
【プラス要因】

- (1) データセンターや24時間システム監視などの新規事業が年間フル寄与
- (2) 一時的費用の消滅

【マイナス要因】

- (1) 人件費増加
[従業員数] 2000/6末57人 2000/8末61人
2001/6末100人近くに
- (2) 研究費(各種実験、事前調査など)や広告宣伝費などの増加

売上は順調に拡大予想



96/12 : 会社設立
日本テレコム
ISP事業参入へ
のコンサルティング開始

97/7 : JPIX
(日本初の商用IX)
設立に参加、技術部門
を全面受託

97/11 : JPIXが
サービス開始

98/7 : NTTドコモの
新インターネットサービス
"mopera"のシステム構築
コンサルティング開始

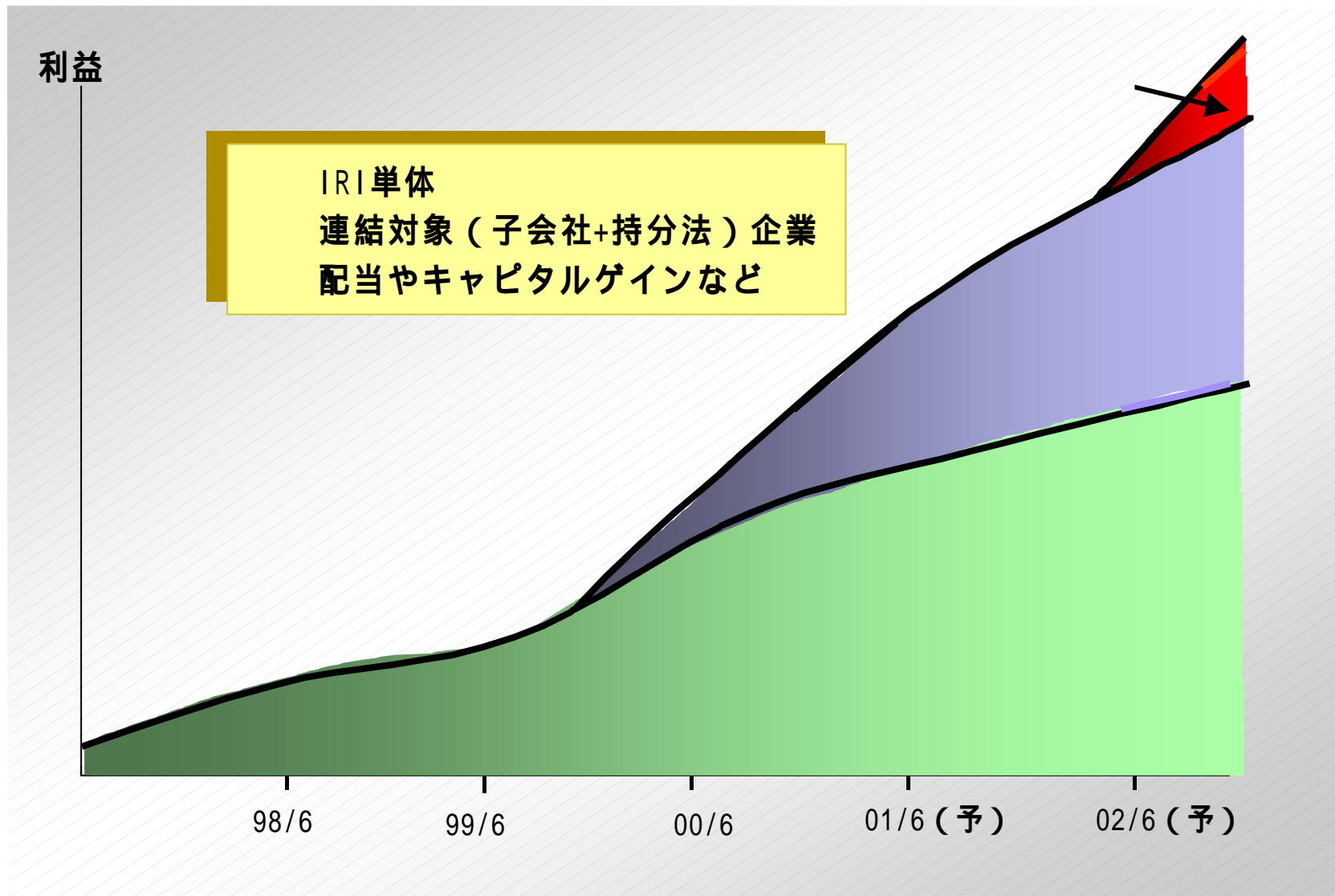
99/6 : ヤフー(株)、
キヤノン(株)、住友商事(株)、
NTTドコモ(株)、
ソフトバンク(株)と資本提携

99/12 : 東証マザーズへ
第1号上場

00/1 : グローバルセンター
ジャパン設立

00/4 : グローバルセンター
ジャパンサービス開始

今後の連結利益イメージ

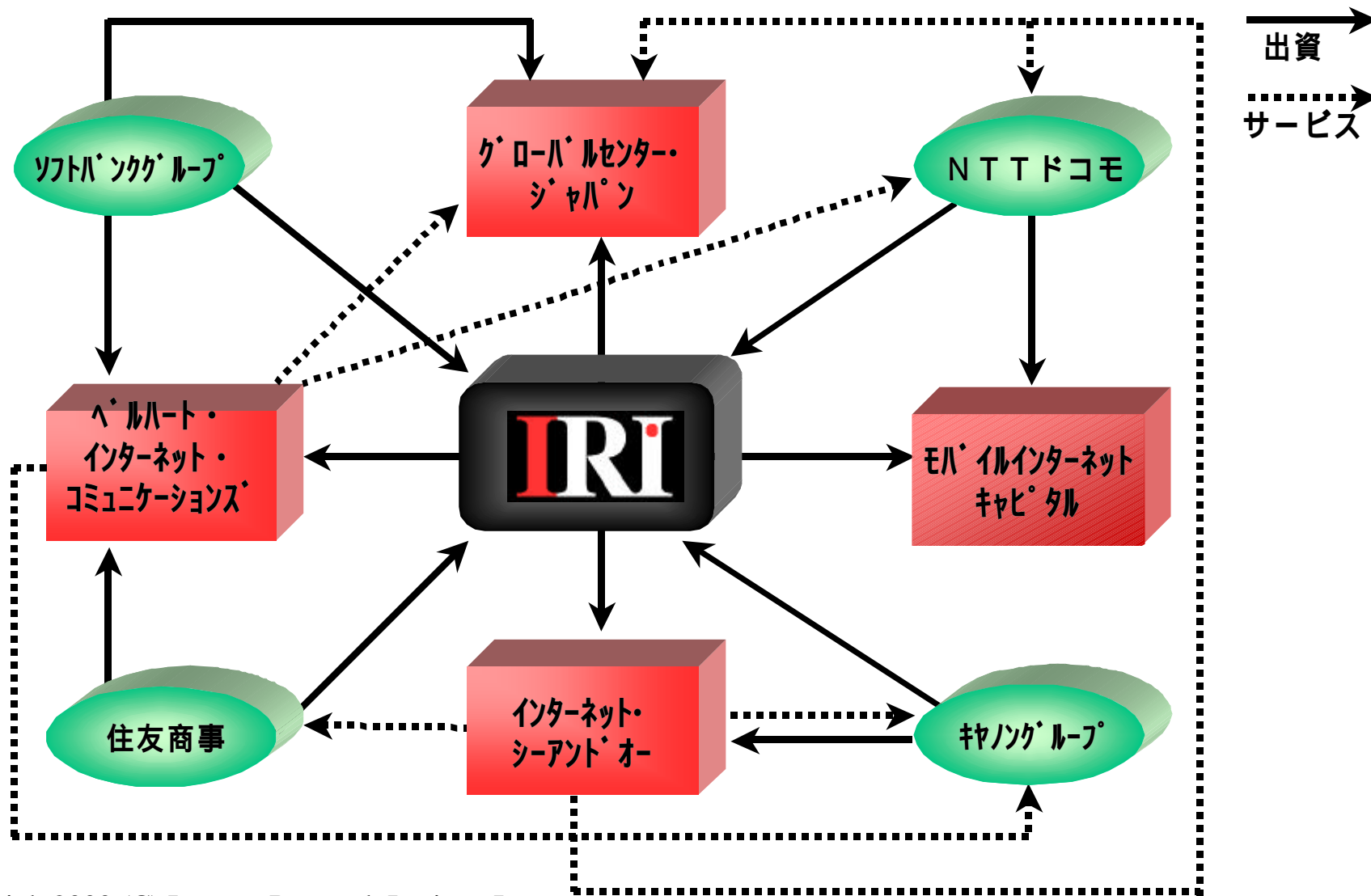


連結対象会社と戦略的パートナー



	会社名	事業内容、ホームページ	出資比率	その他大株主
連結 子会社	IRI USA, Inc. (3WAI)	米国におけるインターネット業界・企業の情報収集、 及び、インキュベーション	100.0%	
	IRI F&T	ファイナンス・テクノロジー関係ASP企業のインキュベーション、管理	100.0%	
	IRI C&T	Eコマース関係ASP企業のインキュベーション、管理	100.0%	
連結 対象の 関係会社	(株)インターネットシーアンドオー	ネットワーク、サーバサイトやNOC (Network Operation Center)、 IX (Internet eXchange) の監視・運用・保守サービスを 24時間 / 365日のサポート体制で提供。 http://www.ico-g.com/	25.5%	日本電話施設 Fastnet(キヤノン) 日本コムシス
	モバイルインターネットキャピタル(株)	モバイル及びインターネット関連にフォーカスしたベンチャーキャピタル。 http://www.mickk.com/	30.0%	NTTドコモ 興銀証券
	ハートインターネットコミュニケーションズ(株)	テレマーケティング、コールセンターからWEBにおけるユーザーサポート などを総合提供。 http://www.bellheart.co.jp/	20.0%	パソナソフトバンク 住友商事
	番組情報データベースセンター(株)	番組情報データベースの情報提供及び配信。	45.5%	三菱商事 日刊編集センター サテライトマガジン
	(株)イーブックイニシアチブジャパン	インターネットによる電子本販売・低コストの電子書籍出版サービス。 http://www.ebookjapan.co.jp/	28.6%	シャープ 凸版印刷 デジキューブ ソフトバンク NTT-X
	ワールドアクセル(株)	ネットワーク機器の企画・開発 http://www.worldaxle.com/	16.2%	日立電線 大井電気 日本電気 住友商事 住商マシネックス
	(株)インターネット・ジー・アイエス	インターネットとモバイルを連携させた 地図情報システム及びサービス提供。 http://www.igis.co.jp/	31.3%	東洋情報システム
	(株)コスモインタラクティブ	Webシステム構築、コンサルティング、ホームページ作成。 2001/6期より新規連結対象。 http://www.comnet.co.jp/interactive/	40.1%	コスモ・コミュニケーションズ(広告代理店)
収益に 重大な 影響を 与える 会社	グローバルセンター・ジャパン(株)	インターネットデータセンター(iDC)事業。グローバルセンターは、 世界最大規模の総床面積とトラフィック処理能力を誇る。 IRIがシステム設計、構築、運用の大半を受託。 http://www.globalcenter.co.jp/	11.0%	Asia Global Crossing (Global Crossing, ソフトバンク、マイクロソフト)
	日本インターネットエクスチェンジ(株)	日本最大の商用IX(インターネット事業者間の相互接続サービス)。 IRIは構築と運用・サポートを100%受託。 http://www.jpix.co.jp/	2.0%	KDD

主要株主との戦略的な業務提携

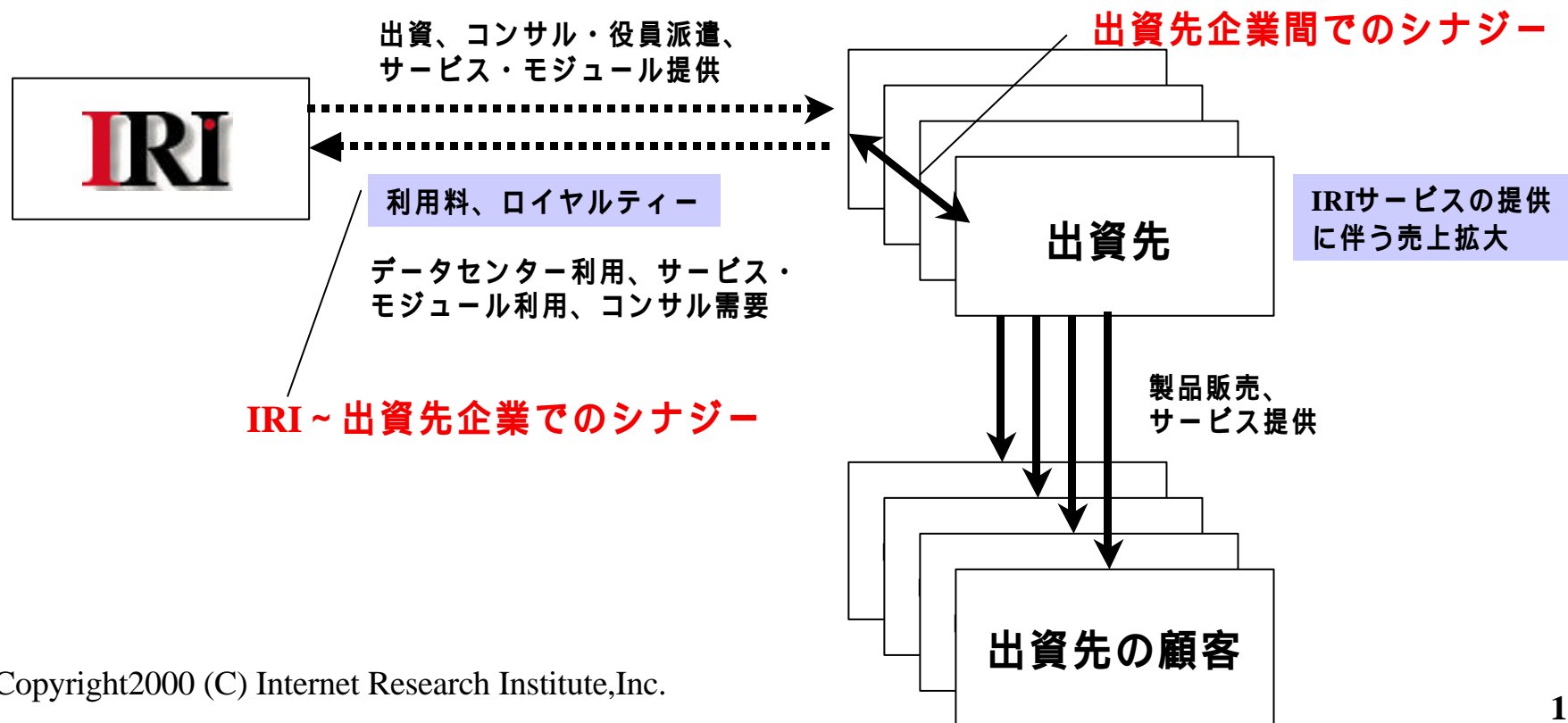


出資案件に対する基本方針～シナジー追求



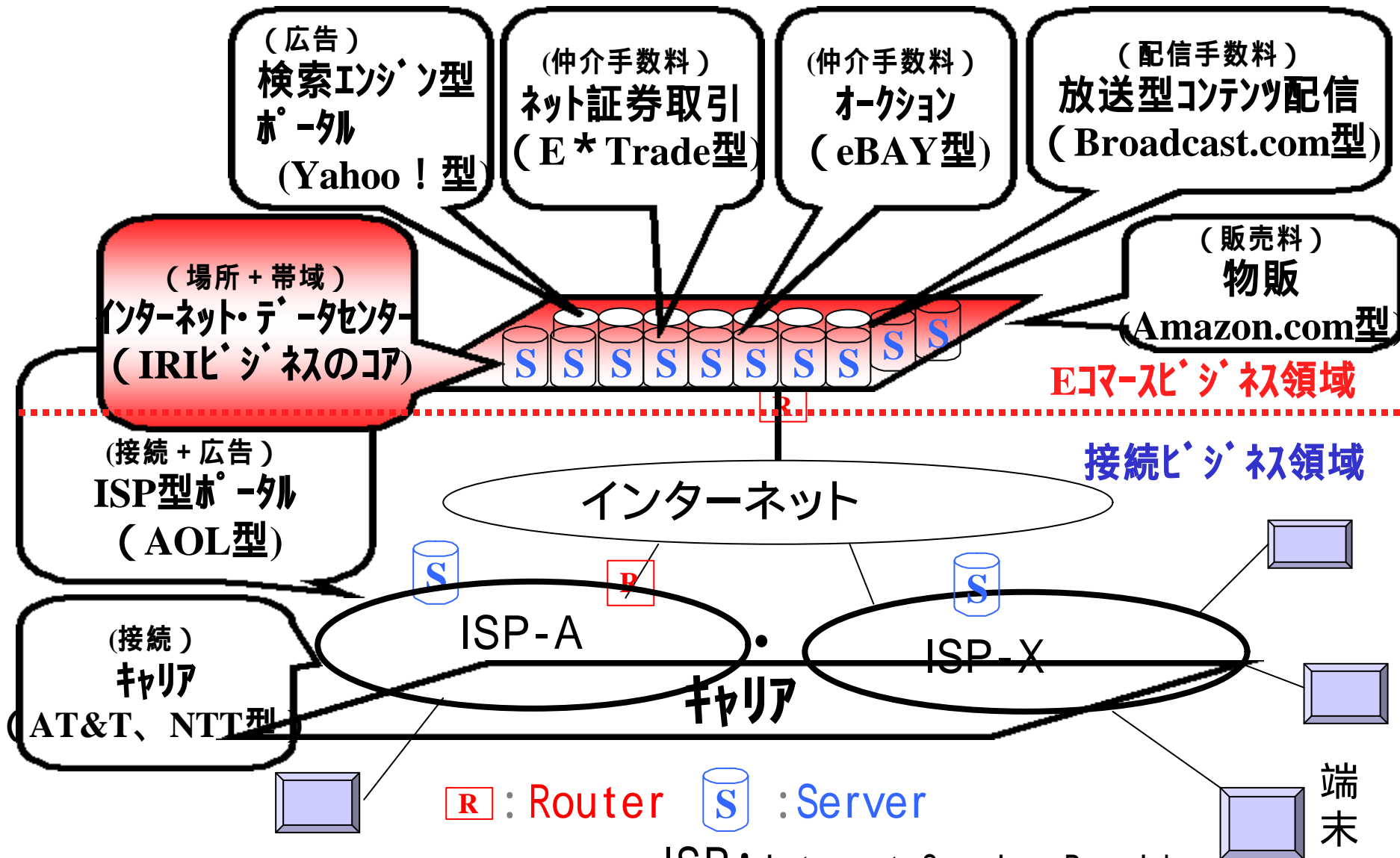
出資案件に対する基本的考え方＝シナジー効果を追求。純投資は原則禁止

- (1) 出資比率上限は30%を目処
- (2) 役員（常勤または非常勤）または相当する人材派遣
- (3) データセンター提供、その他サービス、または、モジュールの提供
- (4) コンサルティング（技術、企画・ビジネスモデル、財務）

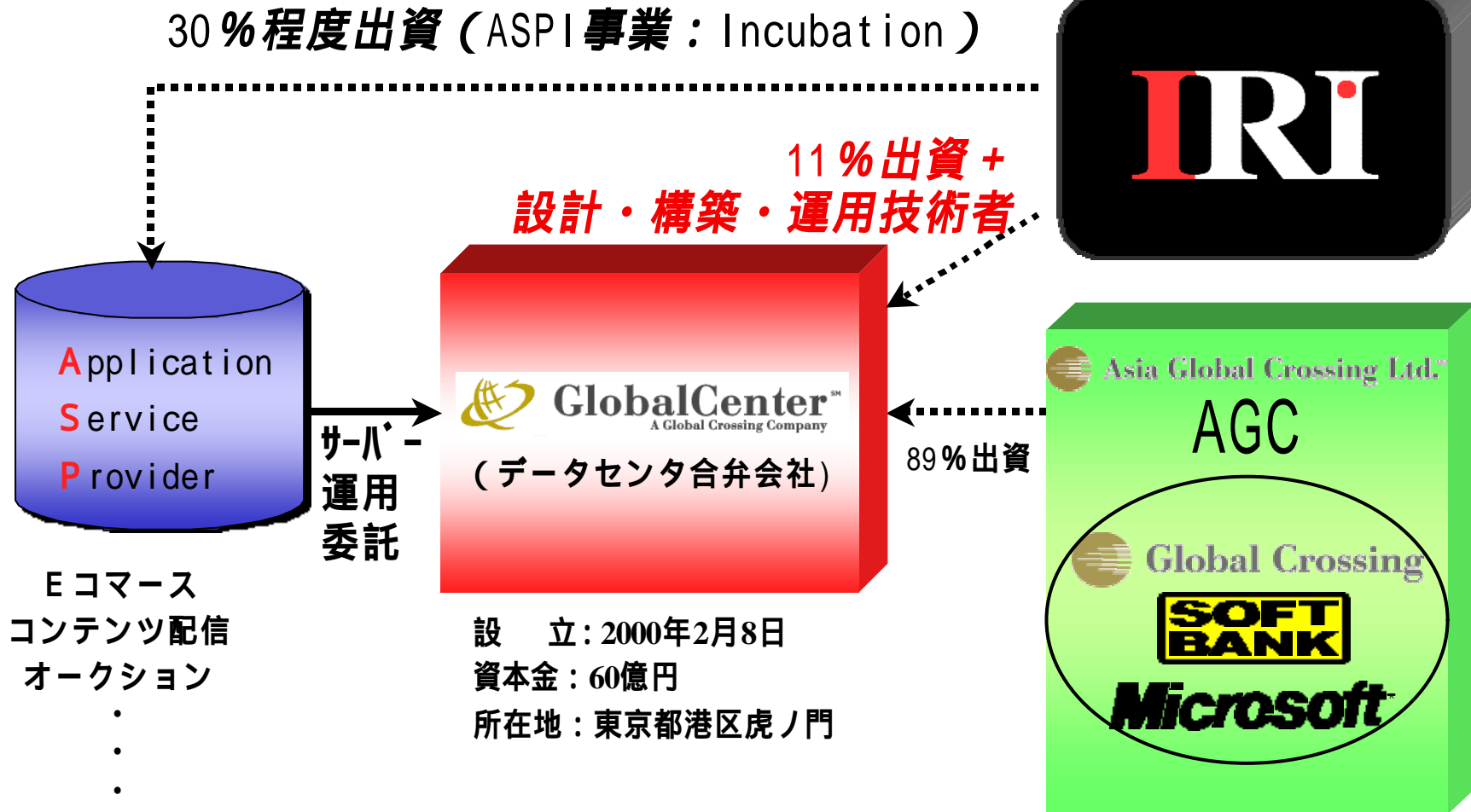


- **当面最大の収益源 ~
iDC事業の現況と見通し**

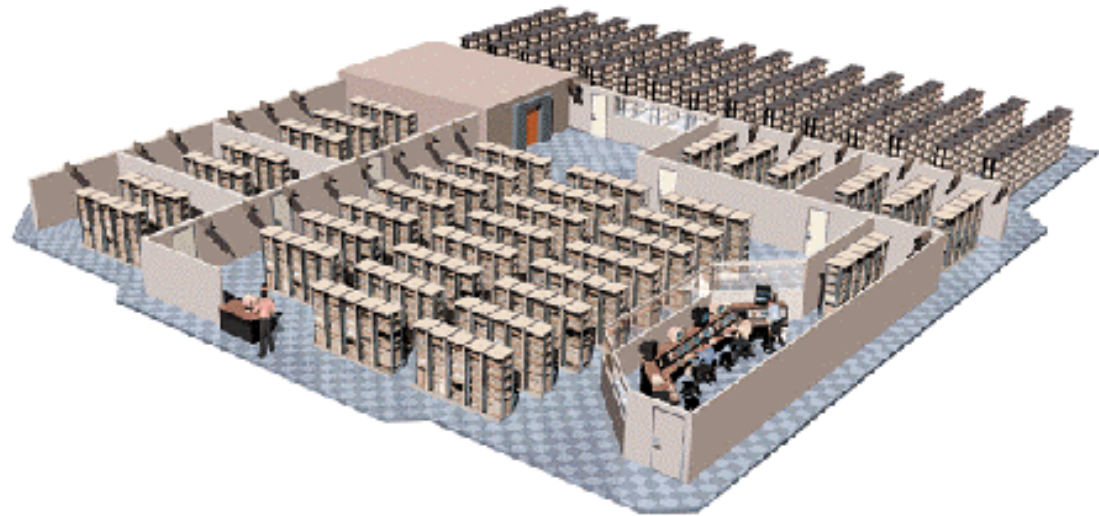
iDCは、ECのプラットフォーム



GlobalCenter Japanのフレームワーク



- 24時間365日無停止の電源設備とそのバックアップ
- 消火設備
- 空調設備
- 高圧変電設備
- レイズド・フロア
- 耐震構造ラック
- 物理的セキュリティ確保(入退室管理含む)
- 十分に冗長性を備えた高速回線(OC-3、OC-12など)と、
それによる多数のISPとの接続性



- (1) 自前のファイバで直結された、
グローバルセンターとの連携
- (2) 世界最大のEコマースコンテンツを保有する、
ソフトバンクグループとの提携
- (3) 世界最大のビジネスソフトウェア資産を保有する、
マイクロソフト社との提携
- (4) すべてのISPに対して中立・独立
- (5) 100%運用実績のあるIXに直結した優れた接続性
- (6) NTTデータとの業務提携
- (7) NTTドコモとの連携

Global Crossing ϕ Network



* Based on announced network

大規模トラフィックを処理する 世界最大規模のデータセンター



- 米国のトップ100のWebサイト40% 以上が利用
- 1ヶ月あたり600億ヒット以上のトラフィックに対応
- 一日あたり20億ヒット以上のトラフィックに対応
- 一分あたり200百万ヒット以上のトラフィックに対応
- 一日あたり約250,000 browser のダウンロード
- インターネットサーチ全体の約60%のトラフィックを処理
- オンライントレード全体の約70%のトラフィックを処理

米国Global Centerの顧客



YAHOO!



eToys™
We Bring the Best Toys Home

Washingtonpost . Newsweek Interactive

looksmart™



QUOTE.COM

hotOffice™
Anytime Anywhere Officing™

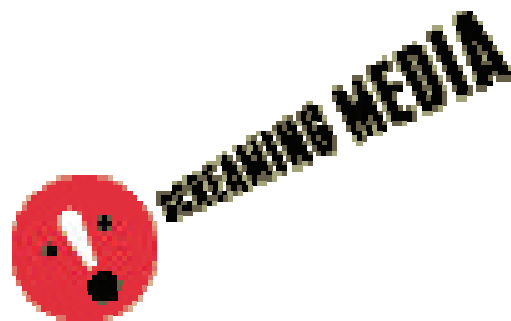


Bigfoot
tools for the internet

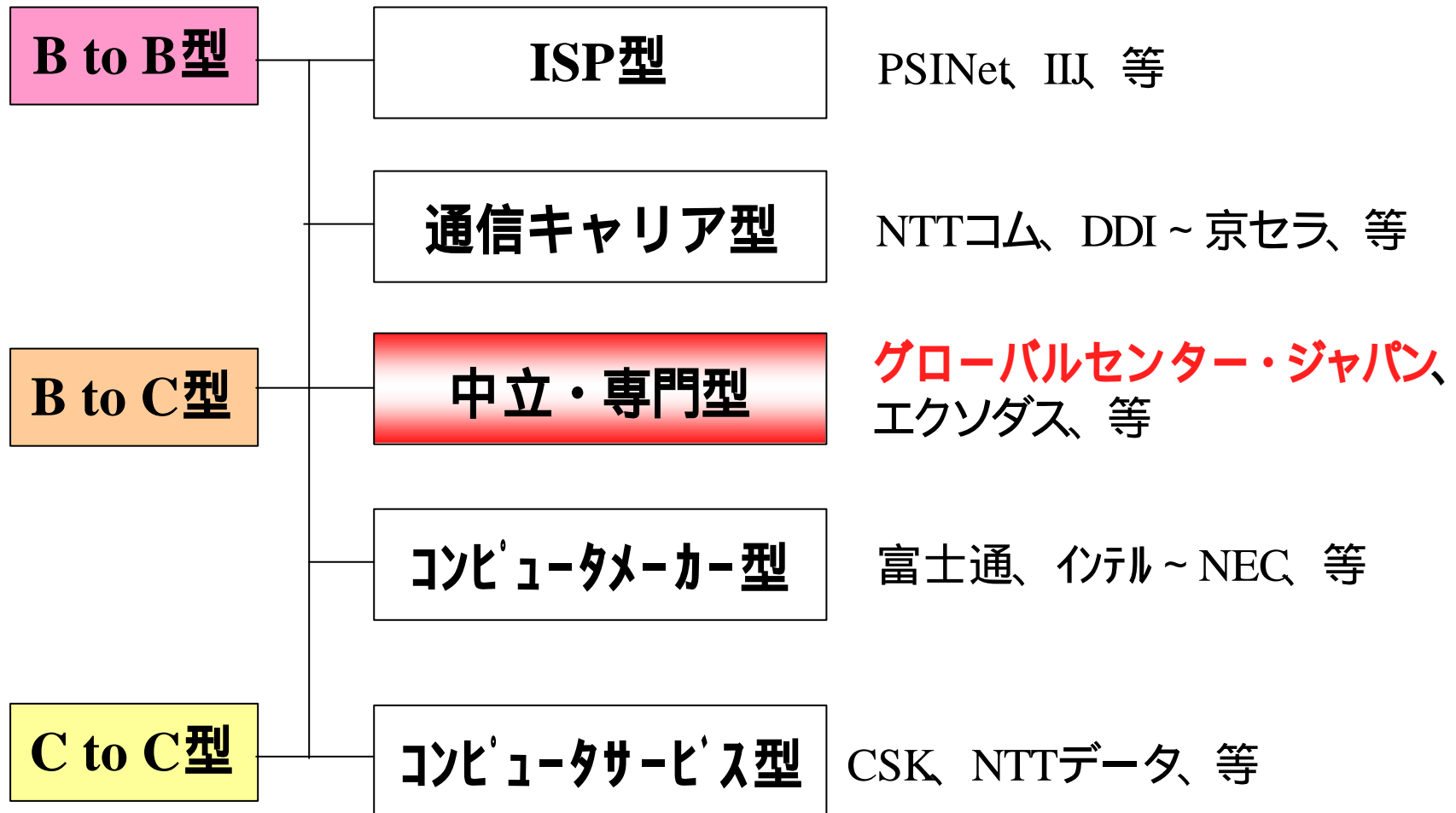
biztravel.com®

About.com™
expert guides to help you
find/ learn/ share

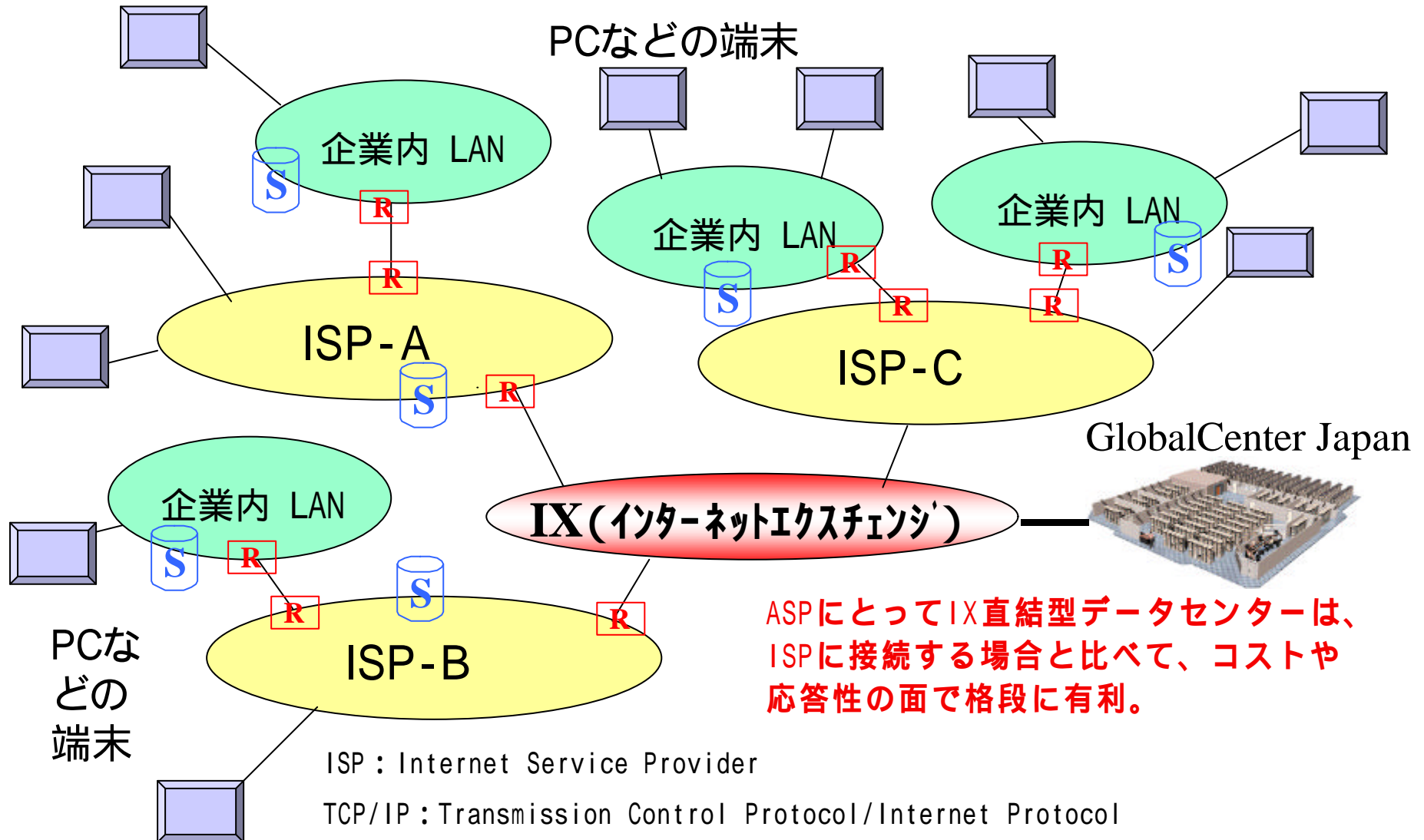
Global Centerのパートナー



GlobalCenter Japanは、中立・専門型

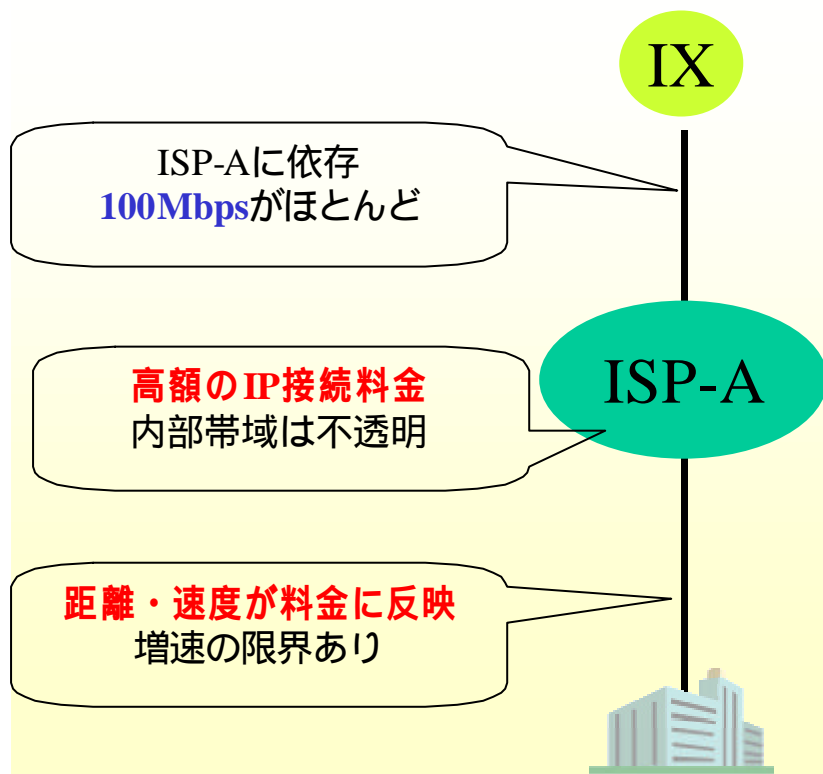


GlobalCenter Japanは、IXに直結

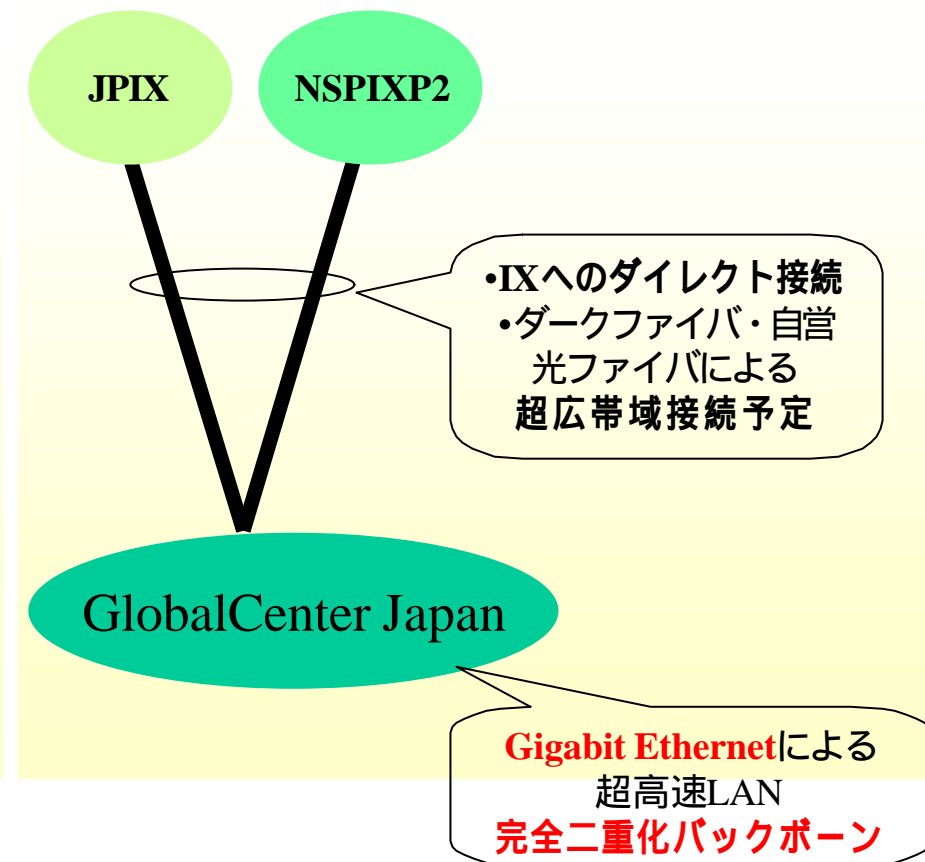


ASPにとってIX直結型データセンターは、ISPに接続する場合と比べて、コストや応答性の面で格段に有利。

コンピュータセンター vs GlobalCenter Japan



従来型コンピュータセンター



GlobalCenter Japan

第1サイト：2000年4月サービスイン（都内）

第2サイト：同7月サービスイン（都内）

第3サイト：検討中

GlobalCenter Japanのロケーションは都心

(1) 都心の方がバックボーンの良い環境が良い

(2) CSP、ASPを提供する人が都心に多く、メンテナンス等に行きやすい（エンジニアが集まりやすい）

GlobalCenter Japanの収益構造



基本収入

- ・ コロケーション料金
- ・ 帯域料金
- ・ 監視サービス

+

付加価値サービス収入

- ・ セキュリティ
- ・ ストレージ
- ・ 決済・認証
- ・ データマイニングなど

—

支出

- ・ 設備投資
- ・ 回線費用
- ・ 設備使用費用
- ・ 人件費など

=

損益

● 当面の経営面での力点

**新事業（データセンターや24時間監視）の
しっかりとしたオペレーションと規模の拡大**

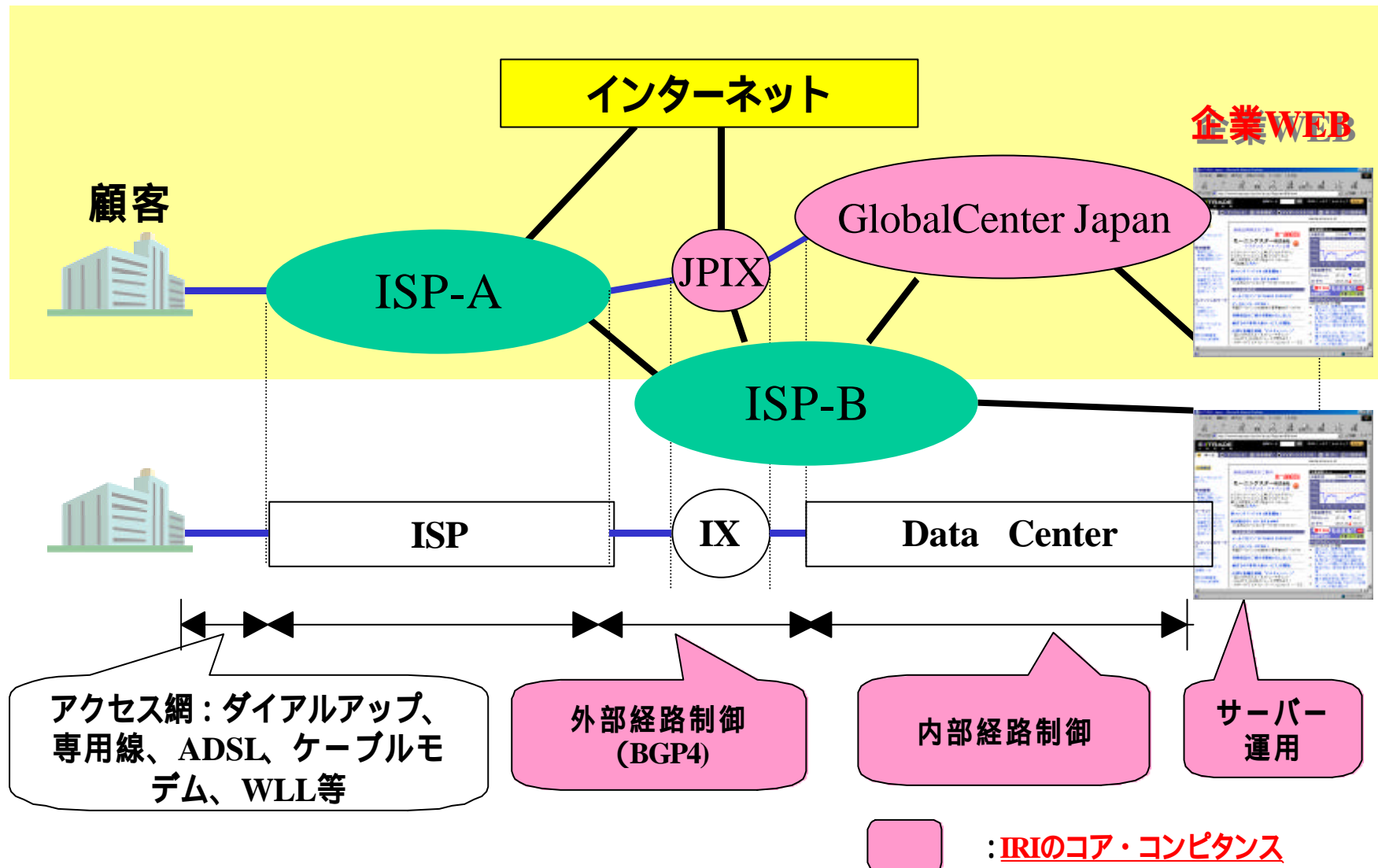
コアコンピタンスの確認と中期経営計画の精査

事業視点は、通信と放送の融合、B2Bプラットフォーム、
ネットとリアルとの融合など

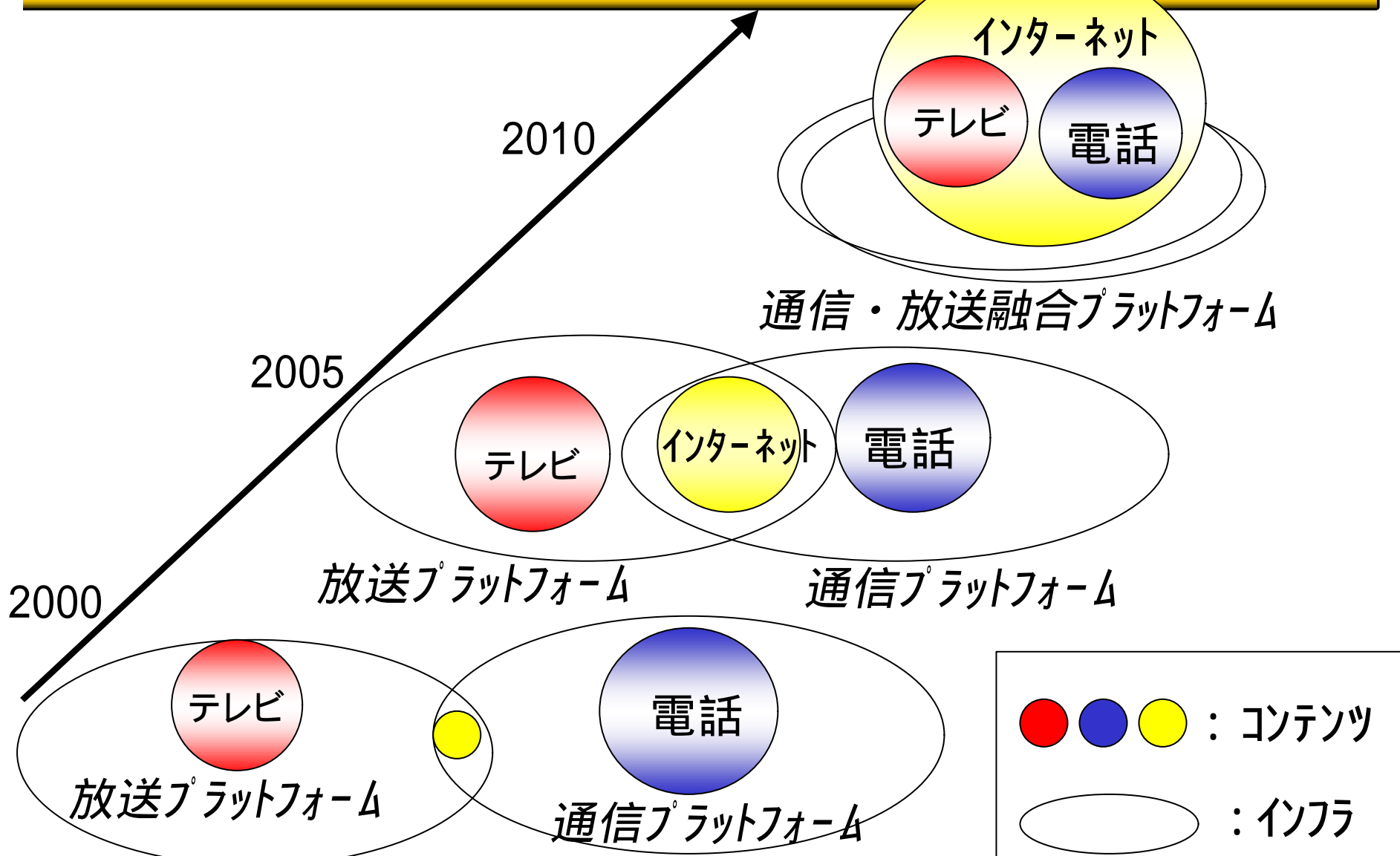
優秀な人材の獲得・教育・強化

サーバー、ルーターエンジニア、営業企画・コンサル、
様々なプロフェッショナル（会計士、弁護士、金融関係など）

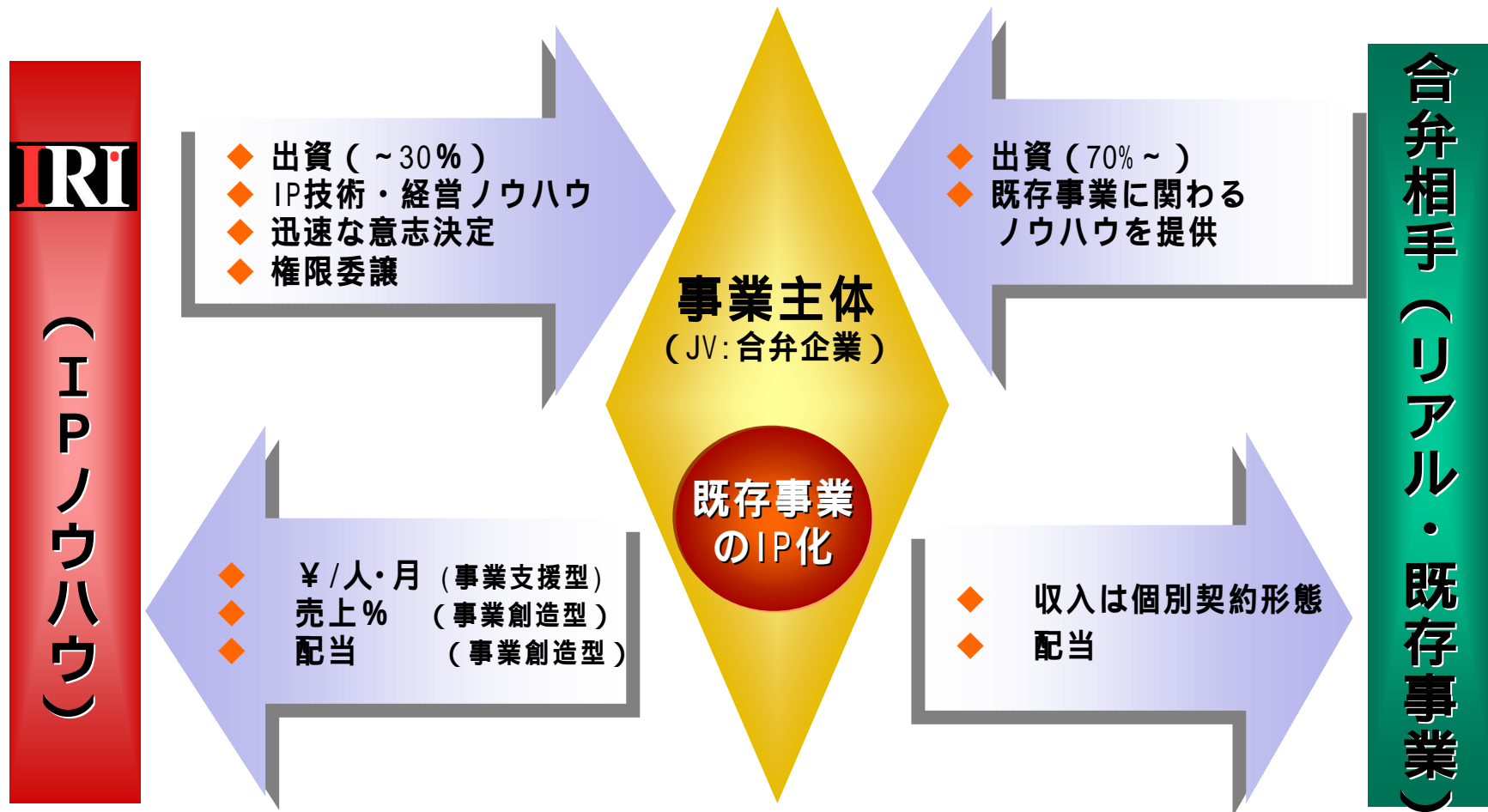
コア・コンピタンス = トラフィック制御+サーバ-運用



コンテンツとプラットフォームの両面で進む通信と放送の融合



ネットビジネスとリアル(既存)ビジネスの融合



IRI は、IP (Internet Protocol) 技術を通じて社会に貢献できる
「常に革新的な企業」であるために、以下の3つの点を重視。

『成長性』

IP は産業革命の原動力。IP 化はあらゆる産業分野や社会的場面において、今後益々必要不可欠。IRI は、あらゆる分野に IP 技術を適用し続けることによって成長性を追求。

『透明性』

IRI は、常に IP によって実現されるネットワーク社会はどうあるべきか、そのために、何を目指し、何をやろうとしているのかを、広く社会に向けて発信していきたい。

『問題解決力』

IP 技術は、従来の産業構造、組織、価値観などを刷新するインパクトがありますが、新たなチャレンジであるがゆえに、期待通りに進まなかったり、新たな問題が発生することが予想。そのような時、IRI は如何なる局面においても頼りになる存在でありたい。